

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価について
(自立支援、介護予防、重度化防止)

| |
|--|
| 目標設定時点における現状と課題 |
| 高齢化率は上昇を続け、それに伴い要介護（要支援）認定率、介護給付費も増加傾向である。介護を必要とする人に対するサービスも不足している状況であるため、元気な高齢者が要介護状態にならないよう、介護予防の取組が重要。 |
| 具体的な取り組み |
| 高齢者が自発的な介護予防の取組ができるよう、歩いて通える場所ごとに住民主体の「かよいの場」の立ち上げを推進する。 |
| 目標 |
| 第7期計画期間中、年度ごとに新規で5か所の住民主体の「かよいの場」の立ち上げを支援する。 |
| 【平成30年度実績】 |
| 実施内容 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 県主催研修会への参加・ 天草地域リハビリテーション広域支援センター主催連絡会議へ参加し、他市町の取組状況や支援について情報交換をした。・ かよいの場又は100歳体操に興味を示した団体に対し、生活支援コーディネーターとともに説明会を行った。・ 日常生活圏域ごとに「かよいの場交流会」を開催し、参加者同士の意見交換会・交流を図った。・ 毎月発行の市広報にて1団体ずつ活動の紹介、平成30年11月号では介護予防の特集を組み、かよいの場の紹介を行った。 |
| 目標達成状況 |
| 新規立ち上げ：10か所 平成30年度目標は達成。 |
| 課題（目標の達成状況に関する理由や原因等） |
| <ul style="list-style-type: none">・ 新規では12件の申請があったが、うち2件が代表者の移行や参加者の移行により取下げとなった。・ A地区では公民館までの距離が遠く、住民が歩いて行ける距離に小学校があったため、空き教室を利用しての開始となったが、長期休暇の時には学校も閉鎖されるため開催を中止している。他に歩いて集える場所があればよいが、生活支援コーディネーターと公民館長等で何か良い方法はないか検討中である。・ 体操を実施するにあたり、パイプイス等の準備が難しい団体があり、介護 |

予防ボランティアに手伝ってもらい実施しているが、現在対応できるボランティアが1人のため負担になっている。

- ・業務委託をしている従来からの介護予防事業との兼ね合いが上手くいかず、かよいの場の立ち上げが滞りつつある。今後の介護予防事業の在り方を検討していく必要がある。

- ・かよいの場交流会ではうまく交流できた地区もあったが、そうでない地区もあったため、参加者のニーズを踏まえた会の計画が必要である。

課題に対する改善策

- ・活動を支えるボランティアは今後も必要になってくることが考えられる。今年度は介護予防活動のみならず、軽微な生活支援ができるボランティアの養成を検討する。

- ・今後の介護予防事業としては住民主体を基本とし、第7期計画中に従来の介護予防事業から住民主体の活動へ移行を図るよう、意向確認と説明会を行っていく。

- ・住民主体で今後も活動が継続できるよう支援していく。